

放送日 平成28年11月1日(火)

担当者 保健福祉部健康推進課 主査 影久 真美

おはようございます。健康推進課特定健診担当の影久真美です。

特定健診は市国民健康保険加入者の40歳から74歳の方を対象に平成20年度から実施しています。

自分は健康だから健診は受けなくても大丈夫、という声をよく聞きますが、心筋梗塞や脳卒中などは、発症するまで多くの場合自覚症状がありません。体の血管を傷める原因となる高血圧、糖尿病などを持ったまま長年過ごすと、徐々に進行し、重い病気になってしまいます。

私はこれまで脳卒中で麻痺が残った方や人工透析が必要となり、仕事を続けることができなくなった方などの介護や生活の相談をたくさん受けてきました。もしこの方々に、5年前・10年前からしっかりと予防の手立てを伝えていれば、今の状態にならなかったかもしれない、この人の人生が変わっていたかもしれないと、とても悔やまれます。健康にかかわる仕事をしている保健師として、このような人を出さないために、予防できる病気は予防していきたい。そのためには、自覚症状に変わって自分の健康状態を教えてくれる「健診」を一人でも多くの市民に受けていただき、健診の結果を丁寧に伝えていくことが確実な方法だと思っています。

今後、北広島市の高齢者人口が急速に増加します。医療費や介護の増大が確実といわれる中、生活習慣病の予防は、高齢者の健康と生活を守るだけでなく、元気で生きがいを持って活躍できる街づくりにつながると思います。北広島がこれからも住みやすい街だと言っていただけるよう、健康な街づくりに向けて努力していきます。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年11月2日(水)

担当者 保健福祉部健康推進課 主査 野切 径代

おはようございます。健康推進課保健指導担当主査の野切です。

今日は寿命図鑑という物や動植物などの寿命を紹介している図鑑について、仕事とからめお話しします。

寿命は動物によっても、物によってもそれぞれ全く違い、例えば、もやしの寿命はたったの1日、まつ毛の寿命は4か月、飛行機の寿命は20～25年、屋久杉の寿命は1000年以上で、太陽の寿命は100億年だそうです。この図鑑は寿命に加え、その物の全うする生き方や死に方のエピソードも添えてあるのがユニークです。例えば、ハツカネズミは寿命が20日ではなく1年で、心拍数も人間の1分60回程度に比べて600回と異常に速いようで、バクバクと鼓動し、ちょこまかと忙しく動き回って命を全うしているのです。一方で、鶴は千年亀は万年といますが、ガラパゴスゾウガメの寿命は100年で、食べること以外1日16時間寝ているシンプルな暮らしで命を全うするのです。

我々日本人の寿命は80歳以上で世界一を誇るほどですが、縄文時代は15歳、戦時中は31歳と時代で変わっています。今は寿命が長ければ良いのではなく、いつまでも元気で過ごす質を保つ寿命、いわゆる健康寿命を延ばすことが大切です。

私たち保健指導担当は、市民が病気になるのを予防し、心も体も健康な状態で生活できるように相談を受け、手助けをするのが仕事です。家庭訪問できる強みを生かし、その人の好みや家族との生活のあり方を聞きながら、経済状態や衛生状態などもとらえ健康問題に介入しています。人の一生にかかわり、健康を守る役割を持つことに魅力を感じる仕事です。地域を元気にして健康寿命をいかに伸ばすか、地域全体の課題にも転換し、改善を図る仕事をしたいと日々感じています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年11月4日（金）

担当者 保健福祉部保険年金課 主査 奥山 俊明

おはようございます。保険年金課・国民健康保険給付および国民年金担当主査の奥山です。

唐突ですが、役所の仕事は簡単だと思われているようで『縦割り行政への批判』をしばしば耳にします。「役所の仕事など、すぐに理解できて当たり前、何でもこなせて当然」という考えから来るのだと思います。

国民健康保険・国民年金業務は、毎日個々のお悩みを持つお客様の電話や窓口
に接する一方、多くの補助金を受けている為、膨大なデータを国などへ正確に報告し、元々複雑な制度が毎年更新されるため、それに誤りなく追従することが求められ、質的にも苦勞が絶えません。

そんな中、『縦割り行政への批判』を受けると、仕方がないと思いながらも、気が減入ってしまいます。

しかし、これは我々職員の側にも問題があると思います。例えば、私が内線電話を掛けても・受けても、部署名・名前を名乗らない人がいまだに相当数います。看板を出さずに商売しているようなものであり、こんな対応では誰も市役所が専門性のある仕事をしているとは見てくれないことでしょう。挨拶に限らず、そう思わせないきちんとした対応はどんな局面でも必ず求められます。

矢面に立たない職員はそれで済むのかもしれませんが、最前線に立つ職員は、そんな職員の対応が元で発生する批判も合わせて受ける羽目になります。「専門分野を担う『縦割り行政』について、堂々と胸を張ろう」というエールを送りたいですが、肝心の最前線の職員達は、最も来客や電話の多いこの時間帯に、朝礼などともに聞けないことが想像できるので、残念ではありますが。

一方で、市全体が一丸となるような内容については、部門を超えて理解しておかなければならないのは当然です。その上で、「市職員は専門家だ」と見られるよう、正しい立ち居振る舞いを行い、誇りを持って本日も1日明るく元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年11月7日(月)

担当者 保健福祉部保険年金課 主査 長谷川 桃子

おはようございます。保険年金課国保賦課担当主査の長谷川です。

国保賦課担当の主な業務は、国民健康保険の資格の管理と保険税を算定し、賦課することです。

保険税に限らず、国民健康保険の制度は複雑で、担当した当初は、覚えるのに苦労し、何度もマニュアルや法令等を読み、周りに確認しながら業務を行っていました。

自分自身の健康保険について考えても、この業務を担当するまでは、身近でありながら、詳しいことはよくわからず、正直面倒だなという印象を持っていました。

ですから、手続きにこられる方の中にも、よくわからなくて不安を感じていたり、様々な疑問を持ってこられる方が多いと思います。

窓口などで市民の方とお話しする際には、難しい言葉を使わないように気を付け、相手の立場になって、わからないことは何だろう、さらにお伝えした方がいいことはないか、と常に考えるようにしています。

さて、国民健康保険は、平成30年度から広域化され、都道府県が財政運営の責任主体として中心的な役割を担うこととなりますが、資格の管理や保険給付、保険税の賦課・徴収等の業務は、市町村がこれまで同様、地域住民と身近な関係の中で行っていきます。

これからも、市役所が安心して手続きや相談ができる身近な存在と感じてもらえるように、一人ひとり丁寧に対応していきたいと思います。

そして、自分の対応が市役所全体の印象に繋がることを意識して、市民の方により信頼、信用してもらえる市役所を目指して業務を行っていきたくと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいただく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年11月8日(火)

担当者 保健福祉部保険年金課 主査 松原 勉

おはようございます。保険年金課後期高齢者医療担当主査の松原です。

本日は、私が現在携わっている業務を紹介します。保険年金課で後期高齢者医療制度を担当しています。現在の医療保険制度では、75歳になると、生活保護受給者等を除いた全ての国民がこの後期高齢者医療制度に加入することになります。平成26年度データでは、全国的にみると75歳以上人口は全体の12.5%、北広島市では、12.1%とほぼ、同じ割合となっています。これから超高齢化社会にむかっていく社会において、後期高齢者医療制度は、よりいっそうの安心と安定が必要であり、この制度をわかりやすく、説明していく義務があるとおもいます。

さて、業務内容について、お話しさせていただきます。後期高齢者医療制度は、各都道府県後期高齢者医療広域連合と市町村が連携して事務を行っています。市町村の業務内容としては、被保険者証の引き渡し、各種届出の受付、保険料の徴収等があります。質問、問い合わせも多くあり、そのほとんどが75歳以上の年齢層の方になります。その中で私が特に気をつけていることは、専門用語を使わずできるだけ簡単な言葉で説明し、ゆっくりおおきな声で話すことです。全て基本的なことですが、毎日の業務を繰り返していくうちに、おろそかにならないように、気をつけるようにしています。市民が来庁し、手続きを済ませ帰るときに、様々な表情、言葉をかけられます。「よく、わかりました。」「きて、よかったわ。」などは、たいへん嬉しく自分でも満足しますが、「わかりにくい制度だね」、「送付された文章がよくわからない」などは、もっと、わかりやすく説明できなかったのか、また、送付文章はこのままで良いのか等係内で話し合うようにしています。貴重な時間をさいて、来庁または電話してくれている市民にたいして誠心誠意対応するのが、市職員の当然の務めではありますが、それだけで満足するのではなく、常に市民の目線に立ち、市民サービスのプロとしての自覚をもった接客を心がけていきたいと思えます。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年11月9日(水)

担当者 保健福祉部保険年金課 主査 三澤 聖子

おはようございます。医療給付担当主査の三澤です。

医療給付担当では、医療機関を受診したときの医療費の自己負担の一部を助成する、子ども医療、ひとり親家庭等医療、重度心身障がい者医療を担当しています。また、慢性的な疾病をお持ちの方に通院交通費の助成を、平成25年度には、北海道から権限移譲を受け未熟児への医療給付も行っています。子ども医療については、平成27年度から通院の助成対象を「小学校就学前児童まで」から「小学生まで」に拡大したところです。

主な業務内容は、受給者証の交付・医療費の償還払いの受付などで、窓口には小さなお子さんを連れのお母さんやお父さん、ひとり親の方、障がいを持った方、高齢者といろいろな方が来られます。

私が、窓口立つときに心掛けていることは、市民の方が話しやすく、質問しやすい雰囲気づくりをすること、また、何を知りたいのか、何を言いたいのかなど、話をよくきくことです。

窓口は、非常勤職員と若手職員が多く対応していますが、制度が複雑なこと、制度改正が多くあること、またいろいろな方が来られますので、毎日が勉強の日々です。

スタッフのみなさん、毎日の業務、本当におつかれさまです。団結や連携は、ひとりで抱え込まずに業務を進めることができ、やる気を生み、そして仕事が楽しくなり、市民へのサービス向上につながると思っていますので、職員一体となり業務に取り組んで行きたいと思っています。主査もがんばっているから、わたしもまたがんばろう！と思ってもらえるような先輩であるためにも、日頃から向上心を忘れずに業務に励んで行きます。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年11月10日(木)

担当者 保健福祉部子育て支援室保育課 主査 笠井 衛

おはようございます。保健福祉部子育て支援室保育課主査の笠井です。

保育を取巻く状況につきましては、5月に木下子育て支援室長、6月に中居保育課長と各保育園の園長からお話がありましたので、私からは1点だけ引き続きのお願いをさせていただきます。

保育所等における保育士不足は依然として続いております。皆さんのお知り合いに、保育士資格をお持ちで、子育てが落ち着いてきたのでそろそろ働こうと考えている方など、仕事の場を探している方がいらっしゃいましたらご紹介いただければと思います。

さて、ここからは私事になりますが、私は、北広島市の職員採用試験を大学4年生の時から受け続け、3年連続一次試験で不合格となり、4年目によりやく合格いたしました。

このことからわかるとおり、あまり頭を使うことが得意ではない私ですが、日頃から心がけているのは、人との繋がりを大切にすることです。

特に、主査職になってからは、ほかの課との調整や市内関係団体の方との関わりが増え、更にその思いが強くなりました。

若手職員の方は、今後、職場内や職場外でたくさんの方と関わる機会があると思います。

その機会を大切にし、良好な人間関係を築いていくことができれば、それは貴重な財産となると思います。

そして、その人間関係の中に、私も入れていただければと思っていますので、気軽に声を掛けてください。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいただく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年11月11日（金）

担当者 保健福祉部子育て支援室保育課 主査 高橋 陽子

おはようございます。保育課学童担当主査の高橋陽子です。

学童担当では、私を含め3人のスタッフで、主に学童クラブと児童センターの運営を担当しています。

学童クラブは、学校から帰っても保護者が仕事などで昼間、家にいない小学生をお預かりする施設です。市内には合計で12か所の学童クラブがあります。0歳から14歳までの年少人口は減少傾向にありますが、学童クラブの入所児童数は、近年特に増加しています。本年4月と平成24年4月で比較すると、入所児童数はわずか4年間で200人以上、約1.5倍の増となっており、要因としましては、27年度以降、対象学年を拡大していることもありますが、共働きの家庭が増えていることも大きく影響していると考えられます。本市に転入を考えている方から、事前に学童クラブの状況について問い合わせを受けることもあり、保護者が日々安心して働くために、学童クラブは欠かせない施設となっています。

同じように、児童を対象とする施設として児童センターがありますが、こちらは18歳未満の児童が自由に来館して遊ぶ施設で、市内には、輪厚、大曲と北広島団地の3地区に開設されています。学校では交流が難しい学年や学校の違う子同士の交流や、行事への参画などを通して成長を育む場となっています。また、今年は早くも到来している冬の居場所ともなっています。

近年は、市民ニーズが変化し、市役所の仕事の内容も複雑化しているように感じます。私が入庁した平成8年当時は、もう少し職員数が多く、上司や先輩からじっくり教わることができたように思いますが、今の若手職員の皆さんは、即戦力として、早い段階から自分自身で考えて悩み、乗り越えることもあるのではないのでしょうか。悩み、解決していく経験は、必ず将来の糧になると思います。ただ、仕事の思いや悩みは、職場の仲間同士で話し合うことも大切だと思いますので、私自身も、心がけていきたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年11月14日(月)

担当者 保健福祉部子育て支援室児童家庭課 主査 記内 崇

おはようございます。子育て支援室児童家庭課主査の記内です。

児童家庭課では、児童手当や児童扶養手当の支給、ひとり親家庭の支援、ショートステイ・病児緊急預かりなどの子育て施策、子ども・子育て支援プランの推進、子どもの権利擁護、家庭児童相談室の運営や児童虐待防止の施策などを行っています。

さて、児童虐待に関する相談件数は全国的に増加傾向にあり、当市においても同じ傾向にあります。

厚生労働省では、毎年11月を「児童虐待防止推進月間」と位置付け児童虐待問題に関する社会的関心の喚起を図るため、集中的な広報・啓発活動を実施することとしています。児童虐待の防止というメッセージが込められている「オレンジリボン運動」も11月の児童虐待防止月間を中心に全国で行われています。

当市においても、このオレンジリボンやリーフレットを配布するほか、明日11月15日、講師に弁護士の内田信也氏をお招きし、児童虐待防止講演会を開催します。時間は午後7時から、場所は芸術文化ホール活動室です。当日参加も可能ですので、ぜひ、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

また、「北広島市子どもの権利条例」では、11月を「子どもの権利月間」と定め、子どもの権利に係る関心を高め、理解を深めるための広報・啓発を行っています。子どもの権利に関する条例を制定している自治体は全国でも数は少なく、当市の特徴といえるこの制度をより多くの方に知ってもらえるよう、周知を進めていきたいと思えます。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年11月15日(火)

担当者 保健福祉部子育て支援室こども発達支援センター 主査 玉手 美和子

おはようございます。こども発達支援センター主査の玉手美和子です。

私はこども発達支援センターで、発達に遅れや障がいのあるお子さんやご家族の支援をしています。職場の同僚はもちろん、関係する部署、外部の関係機関のご協力もたくさん頂いています。この発達支援事業は、北広島市の次代を担う子ども達がその子らしく育ち、家族も安心して暮らしていくためには重要な事業だと思っています。

事業とは離れますが、自立支援協議会こども支援部会の事務局の担当をしています。その中では、普段関わることのない関係機関の方々や市民代表の方々とのネットワークにも助けられる場面もたくさんあります。ひとつの部署だけで出来ることは限られることもあるので、今後も様々なみなさんとのネットワークを大切にしていきたいと思っています。

しかし、上手くいかない仕事を抱えた時や、忙しい毎日を送っていると、気持ちがギスギスして心も体も疲れて辛くなる時が多々あります。そんな時、最近の私の頭の中には、中島みゆきの「糸」が流れます。何かの縁があってこの仕事と出会い、この方々に関っているんだと気持ちが前向きになり、「今日も笑顔で頑張ろう！」と思えます。みなさんの心の中にも、いろんなうたがありますよね？

話は全く変わりますが、私の元気の源は、日本ハムファイターズで、今年のリーグ優勝、日本一には沢山の元気をもらいました。本当にありがとうございます。北広島にボールパークが出来ると、私としてはとても嬉しい限りです。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年11月16日(水)

担当者 保健福祉部子育て支援室こども発達支援センター 主査 濱田 真吾

おはようございます。こども発達支援センター主査の濱田です。

こども発達支援センターでは、発達の遅れや障がいを持つお子さんの通所支援や相談支援の他に、年間300件を超える発達相談をおこなっています。

お子さんの発達に心配がある保護者の方は、自ら心理的なハードルを乗り越えて、あるいは周囲に背中を押されてようやく辿り着くために、皆さん緊張と不安な表情を浮かべて来所されます。

そんな様子で来所された方から、相談を通してアドバイスや安心が得られたことで、お帰りの際には笑顔で感謝のご挨拶をいただくことが多々あります。

来て良かったと、思っただけのことが、私たち職員にとって大きな喜びと励みになっています。全ての方に、笑顔でお帰りいただけるように、丁寧で的確な対応を、日々心がけています。

さて私事ですが、家族と健康づくりのためにトレッキングを始めて3年目になります。登山道で他のトレッカーと出会いますと、ほとんどの方が「こんにちは」と挨拶を交わします。人気のコースであれば、すれ違う100人もの人々と、忙しく挨拶を交わすこともあります。

なぜ山では、これほど挨拶をするのでしょうか、それは環境の特殊性によるものだと思います。例えば「クマやスズメバチの巣を見かけました」等の様々な危険情報を、得る必要があるからです。

挨拶は、見知らぬ人とでも交わした瞬間から、気軽に会話ができる雰囲気となる、潤滑油のようなものです。

逆に、挨拶が返ってこない人には、会話のきっかけが掴めないために、情報提供の機会を逃してしまいます。

気持ちの良い挨拶は、リスクを回避することができます。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいただく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年11月17日(木)

担当者 保健福祉部子育て支援室すずらん保育園 主任保育士 藤田 悦子

おはようございます。すずらん保育園主任保育士の藤田です。

すずらん保育園は世代間交流事業の一環として、四恩園や地域交流ホーム「ふれて」の方々との高齢者事業を行っています。四恩園さんには園児が出向き、「ふれて」さんからは来園していただき、歌・手遊び等で高齢者の方々との交流により、優しさ、いたわり、活力を得るなどお互いに良い効果がみられ貴重な体験となっています。今年度、交流の一部分ですが市のHPきたひろTVにて「みんな元気いっぱい！すずらん保育園」と題して、七夕まつり・すずらんまつりの様子が10月より放送されていますので、是非ご覧いただけたらと思います。

さて、今年度すずらん保育園では大きいクラスの子を中心に1年間の目標をたて、取り組んでいることがあります。目標の一つ目は、挨拶・返事をする。二つ目は鞆や帽子など自分の持ち物は自分で持つというものです。最近子ども達の挨拶が聞かれない、声掛けに対して返事がない、また、当然のように何でも保護者の方に持ってもらうという姿が目につき、継続した取り組みとして行う事にしました。どちらも幼少期からの継続が必要です。特に挨拶は、相手とのコミュニケーションのきっかけを作る大切なものであり、自然にできるようになることが必要です。保育園では、元気な挨拶や返事が聞かれると健康であることを感じ、無言だと調子が悪いのかと心配し、子ども達の心身の状態把握の一つにもなっています。日々の中でまずは保育士が率先して元気な挨拶、返事を子ども達と向かいあって行い、習慣付くよう取り組んでいるところです。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年11月18日(金)

担当者 保健福祉部子育て支援室すみれ保育園 主任保育士 住田 淑恵

おはようございます。すみれ保育園主任保育士の住田淑恵です。

すみれ保育園は現在0歳から就学前のお子さんが109名在籍しています。

開園時間は朝7時30分から夕方18時30分まで、18時30分から19時30分までの1時間は延長保育を行っています。この保育時間の中で、特に朝登園の時に「おはようございます」と笑顔の子どもの声が聞こえると、保育園中が明るくなり元気な1日が始まります。また、「おはよう」とことばで挨拶できない赤ちゃんが微笑んで保育士を見てくれるだけでも心が和みます。

1日の生活の中でのたくさんの挨拶、「こんにちは」「さようなら」「ありがとう」などのことばが自然に出てくると、皆心地よい気持ちになりますね。大人にとっては当たり前前の挨拶とわかっていても、なかなか口に出して言えないこともあります。この大切なことばを子どもたちに気持ちの良いシャワーのように聞かせてあげることで、子どもたちが健やかに育ってくれるのではないのでしょうか。

さて、園の事業では、地域の親子支援としてすくすく広場を実施しています。内容は、保育園に親子で遊びに来てもらい広い遊戯室で遊んだり、夏には園児と一緒に園庭で水遊びや砂遊びをしたり、秋には年長児と一緒に円山動物園にバス遠足にも出かけます。冬にはクリスマス会に参加してもらい、園児との交流を図っています。すくすく広場を始めるときにもお互いに気持ちの良い挨拶ができると、初めて会った方ともコミュニケーションがとりやすく、事業にも楽しく参加していただけたと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年11月21日(月)

担当者 保健福祉部子育て支援室稲穂保育園 主任保育士 石間 利恵

おはようございます。稲穂保育園主任保育士の石間利恵です。

乳幼児期は、あそびを通して将来にわたる健康の基礎づくりをする大切な時期です。保育園でも、保育士が年齢や個々に応じた対応をしながら生活リズムを整え、全身を使う機会を多くして体力づくりを進めています。

体力づくりの第一歩は、まず歩くこと。北広島市には緑豊かな公園が数多くあり、子供たちも公園に行くのをとても楽しみにしています。春は川にカエルの卵を取りに行き、夏は木陰でタンポポやシロツメクサを使ってままごとあそび。秋にはナナカマドやドングリ、まつぼっくりを集めて色の違いや大きさを比べたり、広い空の下でトンボを捕まえようと元気一杯走り回ります。冬になると積もった雪山でそりすべりをするのも子供たちは大好きです。澄んだ空気の中、身近な虫や植物などに触れながら、季節の変化や生き物の尊さを感じるなど、自然は子供たちに多くのことを学ばせてくれます。

さて、この豊かな自然も、先人たちの努力とここで暮らす人たちの日々の営みにより守られてきたものです。人も自然も育つためには、長い年月がかかります。私たち保育士も、大切な命をあずかり、安全を守りながら職員間の連携した保育を実践していくには長い時間を必要とします。

しかし、保育園では今、次の世代を担う子供たちを育むための保育士が不足しています。身近に保育士資格をお持ちの方がいらっしゃいましたら、ぜひ保育園の方へお知らせください。子供たちの元気な挨拶とかわいい笑顔が待っています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年11月22日(火)

担当者 保健福祉部子育て支援室地域子育て支援センター 主任保育士 橋本 なつみ

おはようございます。地域子育て支援センター主任保育士の橋本です。

本日は地域子育て支援センター「あいあい」について、お話させていただきます。

あいあいでは、0歳から小学校就学前までの子育て中の親子を対象とし、交流や育児相談、情報提供などを行っており、市内をはじめ、市外の方や里帰り中の方、祖父母の方などが来館されています。

1日平均25組の親子が利用しており、子どもたちは元気いっぱい走り回ってあそび、たくさんの笑顔をつりまいています。私たちも、高齢者のボランティアも、その笑顔でパワーをもらっています。

お母さんたちは、スタッフやお母さん同士で子育ての情報を交換したり、アドバイスをしあったりして、子どもの新たな発見にもつながっているところです。

また、昼食をランチルームで食べ、遠足気分を味わう…といった楽しみ方をされている親子も見かけます。

来年からは新庁舎の1階に移転するのですが、面積が現在の約2倍に広がります。設備も新たに、子どもたちがわくわくするようなオリジナルの大型遊具を導入するほか、絵本コーナーや外遊びのできるプレイロットを設けます。

これまで以上に、たくさんの親子に来てもらい、子育ての楽しさを伝えたり、悩みごとの相談を受けたりすることなどを通じて、子育てしやすいまちであることをPRしていきたいと考えています。市外の方たちも多く来館することになりますので、明るく、元気に「あいさつ」をしてお迎えしたいと思っています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年11月24日(木)
担当者 建設部庶務課 主査 菊地 徳久

おはようございます。建設部庶務課主査の菊地です。

庶務課では、建設部としての取りまとめや建設事業に係る用地の取得、地積に関する問合せ、開発局や北海道に係る建設事業の調整などの業務を行っています。

また、現在、開発局において、下水処理センターの向かい側で洪水対策のための遊水地整備が進められています。普段は水が溜まらない施設になることから、庶務課では、今年度より遊水地造成後の具体的な利活用について、市民の交流や活動の場とするためには、どのような施設を設けることが望ましいか、関連する部署の協力をいただき検討しています。多くの市民に喜んでもらえる交流の場になりたいと考えています。

話は変わりますが、私が札幌に住んでいた中学生か高校生の頃に、当時の広島町の街を車で通ったことがあります。そこは、北広島団地の入口となる広葉通だったと思うのですが、国道36号の大曲から畑に囲まれた田舎道を通り抜け、交差点を右折すると、急に住宅団地が広がり、両側には緑地と一体となった広々とした道路が目に入ってきたのです。今でも、子供ながらに見た記憶が、頭の中に鮮明に残っています。

まさか、その後、自分がこの街で働き、住み続けるとは思ってもいませんでしたが、その時から運命的な繋がりがあったかもしれません。

そんな、この街にしかない魅力を大切に残し、また、これからも色んな街の魅力を広げていくことで、私と同じように、以前、北広島に来たことが、思い出に残る街になると嬉しいです。東の里にできる遊水地も、そんな、心に刻める空間になってほしいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいただく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年11月25日(金)
担当者 建設部庶務課 主査 谷畑 雅人

おはようございます。建設部庶務課主査の谷畑です。

用地、補償業務を担当しています。用地補償の業務とは、事業用地の取得および補償に関することです。

用地担当の仕事は、道路や公園等の施設を作るための土地を北広島市の所有物にする業務です。

事業施工地の土地を所有者の方から譲っていただかなければならないことから、土地を正当な価格で買い、土地の上に建てられている建物等を移動していただくようお願いすることとなります。

土地や建物等の所有者に、事業の説明や実際に買わせていただく土地の範囲などを説明します。

同時に、土地の価格や建物などを移転していただくための費用などを積算します。事業内容や価格に納得していただけると契約書を作成し、所有者と契約を交わします。

その後、土地の所有権移転の登記を行い、土地代金や建物の移転補償金を支払いします。

用地の取得は、事業を進める上で大変重要なこととなります。

しかし、土地や建物は所有者の大事な財産ですので、十分に納得していただいた上で譲っていただかなければなりません。

一方、税金で購入するため適正な価格で取得することが極めて大切となります。

用地担当では、土地所有者の方に対して、事業の必要性などを十分に説明し、納得いただけるよう交渉を重ね業務に取り組んでいます。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にたく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年11月28日(月)
担当者 建設部都市整備課 主査 大西 康文

おはようございます。都市整備課道路河川担当主査の大西です。

道路河川担当は主査職2名、主任・技師職3名の5名のスタッフで道路工事の設計や監督業務を行っています。今年度は、10路線の道路工事を発注しており、年末に向け工事も終盤に差し掛かっています。

さて、皆様は道路工事に対してどのようなイメージをお持ちでしょうか。交通規制を掛け、渋滞の原因を作っていると感じる方、冬になると工事が多くなるのではないかと思う方、自宅の前で工事が行われていれば、騒音や振動でうるさいなど、マイナスのイメージを浮かべる方も少なくないと思われます。

私も実際に、工事に対してこのようなイメージを持ったこともあります。また、工事の監督員の立場として、市民の皆様から、お叱りのお電話をいただいたこと、ご自宅の玄関先で工事に対してのご意見をいただいたこともありました。

しかしながら、アスファルトにより舗装が施工され、道路が整備されると、随分きれいになった、以前より運転がしやすくなったというご意見をいただいたことがあるのも事実であります。

この様なことから、市民の皆様は、工事の内容について丁寧に説明し、ご理解していただくことが大切であると感じています。

また、道内では8月の台風により橋や道路が流されるなどの被害があり、最近では福岡での陥没事故など、道路が被害を受けたときの社会的影響が深刻であることを再認識させられます。重要なライフラインである道路に関わっていることに、日々責任を持ち日々の仕事に邁進していきたいと考えています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいadak大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年11月29日（火）
担当者 建設部都市整備課 主査 柄澤 佳宏

おはようございます。都市整備課公園担当主査の柄澤佳宏です。

私が担当している主な仕事として、公園の施設改修について、お話ししたいと思います。

この事業は、国土交通省の社会資本整備総合交付金により、老朽化した公園施設である遊具の改築更新を目的とした交付金事業であります。

この事業により老朽化した公園の改修工事を行う際、私自身が大切に感じている事は、より多くの市民の方々に親しみを持たれる公園、市民の方々のニーズを反映できる公園となる様、改修工事を行うという点を一番に思い業務を執行しているところであります。その際、改修工事の事前に地元町内会、自治会の皆様方、併せて校区内の小学生の皆様を対象に、意見交換会を実施し、多くの市民の方々より、色々な意見をいただき、そのご意見を設計に反映し、より多くの市民の方々に愛着を持っていただける公園を目指しているところです。

しかしながら、昨今の高齢化により、市民の皆様の公園に対するニーズが多様化している点があります。その例として、私自身の思いにもなりますが、一昔前なら、公園イコール子供たちの遊び場であったものが、今の時代、公園イコール子供たちの遊び場プラス高齢者の方々の憩い、健康維持の場所となっている様に感じます。

そのため、健康維持のために健康遊具の設置、憩いの場の四阿などの要望も多く聞かれることとなっております。

現在は、私の担当する業務である公園改修にあっても、高齢化対策が重要視されていることを感じるこの頃であります。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいただく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年11月30日（金）
担当者 建設部都市整備課 主査 北口 馨

おはようございます。建設部都市整備課主査の北口馨です。

私は、ドライブや温泉巡りが好きで、これまでに北海道内の多くの市町村を訪れました。

その道中では、できるだけ商店街や駅などにも立ち寄り、そのマチの様子を観察することも楽しみの一つであります。

訪れた中には、後になってほとんど印象に残っていないマチもあるのですが、人口が数千人規模であっても活気が感じられるマチもあり、そのような所へはぜひ再訪したいと感じるものです。

このように各地を旅してきたからこそ、道内では最も交通の利便性が高い地域に北広島市はあるということがよくわかります。

しかし、マチの通りを多くの観光客が歩いているという光景には、残念ながら出会ったことはありません。

もちろん、静かな環境を好む方々も少なからずいることとは思いますが、私はこの恵まれた地の利を活かしきれていないと寂しさを感じてしまいます。

今、ファイターズのボールパーク構想による建設候補地の一つとして、きたひろしま総合運動公園予定地も挙げられています。

このような施設ができれば、多くの観戦客や観光客が北広島市に來訪してくれることとなるでしょう。

そして、誘致に成功した場合には、現在担当している道路整備事業に限ったことでも、予定地周辺の既存道路をどう整備すべきか、また、新設が必要になると思われる主要路線からの連絡道路はどういう経路が望ましいか、といった難題に取り組むこととなりますが、日本一のチームに負けないような組織での連携プレーで克服したいと考えながら、朗報が届くことを願っています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。